

「進行胆膵がん患者の病勢悪化に關与する炎症關連分子の研究」の研究
情報公開文書 第4版

作成年月日: 第4版 2023/11/28

研究対象:

国立がん研究センター東病院で、2005年から2017年に膵がん、胆道がんに対して診療を受けられた方のうち、以下の患者さんが対象となります:

- がんの病理検査のために生検を行い、当センターで生検検体が保管され、保管検体の研究利用に同意された患者さん。
- がんの手術を受けられ、当センターで手術検体が保管され、保管検体の研究利用に同意された患者さん。
- 当センターで膵がん、胆道がんに対して化学療法を受けられた患者さん。

研究の概要:

膵がんや胆道がん患者さんでは、がん細胞の浸潤能や増殖能の亢進、腫瘍の抗がん剤への耐性、体重減少・倦怠感・Performance status(PS)の低下・肝機能異常などの病勢悪化は、炎症性サイトカインやその産生に關わる分子などの炎症關連分子と關連すると考えられています。我々は、この分子機序を理解するための検討を行っています。

研究の意義:

膵がんや胆道がん患者さんでは、病勢悪化と炎症關連分子が關連すると考えられていますが、実際にどの分子が最も關わっているのかわかっていません。病勢悪化と密に關連する炎症關連分子を明らかにすることで、病勢悪化に対する理解が深まり、病勢悪化の予防もしくは改善を目的とした抗炎症療法の開発に有用な情報が得られることが期待されます。

方法:

当センターで手術、或いは剖検を実施され保管されている病理検体を用いて、炎症關連分子の発現を検討します。診療録の情報と併せて検討することで、炎症關連分子と病勢との關わりを明らかにします。

研究実施期間: 14年間 (計画期間2025年3月31日まで)

外部への試料・情報の提供:

当センターから外部への試料やデータの提供は行いません。

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

個人情報保護に關する配慮:

当センターで保管してある病理検体や閱覽する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理しますので、個人情報が漏出する可能性は極めて低いと考えています。

研究組織:

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、先端医療開発センター バイオマーカー探索TR分野 光永 修一

国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野・連携研究室 増田 万里

国立がん研究センター研究所・鶴岡連携研究拠点がんメタボロミクス研究室 牧野嶋 秀樹

中外製薬株式会社に属する共同研究者は、2023/11/28より本研究から削除された。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

:

研究代表者

光永 修一

国立がん研究センター 先端医療開発センター バイオマーカー探索TR分野

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL:04-7133-1111

FAX:04-7133-0335

文責:光永 修一